※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　地理・歴史科

科目	**地理総合**	単位数	3
使用教科書	高等学校　新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	1	2
レポート	３通	６通
必要出席回数	１回	２回
テスト	○	○
課題・実習等	メディア視聴学習　あり	

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は世界の地理について学びます。「私たちが生きる世界がどのようなものであり,世界にある多様な国々がどのような特徴をもっているか」について学ぶことは,これからの社会を生きるうえでとても重要です。また世界の様子との比較で，日本という国の特徴を考えることも大切です。

レポートは教科書の内容に沿っているので，図表も含めてよく読んで学習をすすめましょう。スクーリングではレポートで扱う内容について理解できるよう講義を行います。最低出席回数は３回です。また，１・２範囲に行われるテストはレポートから出題します。成績はテストの得点，レポートの提出状況と内容，スクーリングの出席状況から総合的に評価します。

またＮＨＫ高校講座「地理」をあわせて視聴することは，内容の理解に大変役立ちますので，スクーリングの出席とあわせて積極的に活用してください。

学習を進める上でわからないところや困ったことがあれば，遠慮なく質問・相談に来てください。

2　学習の到達目標

世界各地に興味関心をもち，現代世界が抱える諸課題の解決に向けて主体的に取り組む態度を養う
①生徒が主体的に学習に取り組む中で，地理的見方・考え方を身に付ける。
②学習を通して，世界の各地域の成り立ちや特色を知り，国際社会の現状の理解と展望を深める。
③現代世界の地理的事象を総合的に考察し，国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。
④地図，写真，統計，グラフなどの諸資料を効果的に活用して地理的な事象の理解と探求ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・国や地域によって異なる地形や気候，文化や産業などの基本的な知識を身に付け，またその背景要因を理解している。 ・世界の各地域を理解するために，統計資料やグラフから，有用な情報を適切に読み取り，それらを効果的に地理の探求に活用することができる。	・世界の地域の特色や諸課題について，自然環境や歴史的背景などの様々な要素と関連づけて多角的，多面的に考察し，その結果や過程を適切に表現できる。 ・現代世界の地理的諸課題について地球的視野から理解し，その対策や持続可能な社会の実現について考察する。	・世界の地理に対する関心を高め，主体的かつ計画的に学習に取り組むことができる。 ・地理を学ぶことを通して，国際社会に生きる当事者としての自覚を持ち，能動的に考え課題解決に向かう態度を身に付けている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	世界の気候と人々の生活 生活文化の多様性と国際理解 結びつきを深める現代世界 世界地図と地理情報システム	地球上の大陸、大洋の配置 世界の地域区分 世界の主要な国家の位置 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 現代世界の国家と領域 　日本の位置や領域 グローバル化する世界 　国家間の結びつき 　貿易 交通 通信 観光 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 追求事例　モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア／オセアニア- 世界の言語と人々の生活文化 世界の宗教と人々の生活文化 追求事例　イスラームと人々の生活の関わり –中央アジア・西アジア・北アフリカ／南アジア- 歴史的背景と人々の生活 追求事例　移民の歴史と人々の生活の関わり -ラテンアメリカ／サハラ以南アフリカ／ロシア-	(a)地図の読図などをもとに，地図や地理情報システムの役割や有用性，現代世界の地域構成，日本の位置や領域および領土をめぐる問題、国家間の結びつき，地理的環境によって影響を受ける人々の生活文化などについて理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 (b) 各題材・学習内容について，主題を設定し，地理的な情報の目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 (c)地図や地理情報システム，現代世界の地域構成，生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 (a)言語，宗教，歴史的背景が，各地域の生活文化に及ぼす影響について理解している。 (b)各題材・学習内容について，人々の生活への関わりという視点から，地理的な情報の目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 (c)各題材・学習内容について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	レポート スクーリング 定期考査	レポート スクーリング 定期考査	レポート スクーリング 振り返り課題

※令和４年度以降入学生用

後期	自然環境と防災 地球的課題と国際協力	世界の産業と人々の生活 追求事例　経済成長による人々の生活の変化 -アメリカ合衆国東アジア／ヨーロッパ-	(a)各種の産業が，各地域の生活文化に及ぼす影響について理解している。 (b)各題材・学習内容について，人々の生活への関わりという視点から，地理的な情報の目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 (c)各題材・学習内容について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			
		複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食糧問題 都市・居住問題	(a)世界各地の地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる各種の問題を基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す各国の取り組みや国際協力が必要であることを理解している。 (b)世界各地でみられる地球的課題について，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 (c)地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	レポート スクーリング	レポート スクーリング	レポート スクーリング 振り返り課題
		日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	(a)我が国や世界の自然災害を基に，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応した各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 (b)地域性を踏まえた防災について，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。			

※令和４年度以降入学生用

			(c)自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度